



《青磁鯉耳花生》



《飴釉扁壺花生》



高光 一生
《花生「陽光」》



戸出 政志
《色絵春園花器》

コレクション展
工芸セレクトションⅣ
VOL.Ⅱ

花入が いろいろ



《古伊賀耳付花生》



大樋 陶冶斎
《大樋海老耳付花入》

The World of
Various Flower Vases



山本 重義
《金襴小紋手花蝶岡花瓶》



伝 横河 九左衛門
《狸々薄端》

2023年
6月29日(木) ~
10月1日(日)

休館日/月曜日(祝日の場合は翌平日)
※会期中に一部の作品を展示替えします

主催/金沢市立中村記念美術館
後援/北國新聞社 テレビ金沢 MRO北陸放送
HAB北陸朝日放送 石川テレビ



橋本 仙雪
《捻組花籠》
(8/20まで展示)



中川 衛
《象嵌臙銀花器》



《染付唐草文竜耳花生》



《辰砂耳付花生》



初代 西村松逸
《太鼓胴形花入》



《自然釉鶴首花生》

私たちは、日々の生活の中や茶席において、室内に草花を生けて飾ることで、繊細な季節の移り変わりを感じ取ってきました。草花を飾るために欠かせない器が、花入です。

花入は「花生」「花器」「花瓶」などとも呼ばれ、一輪の花を飾る華奢なものから、たくさんの花木を生けられる大ぶりのものまで、サイズも素材も実に多彩です。時には花を生ける目的ではない器を花入に見立てることもあります。

当館の所蔵品をテーマごとに紹介する工芸セレクションの第四弾となるこのたびの展覧会では、やきもの・金属・竹・漆などでできた多彩な花入を一堂に会して展示します。花を生けてもよし、器そのものを愛でてもよし、見どころ満載の花入の世界をお楽しみください。



《染付山水文柑子口花生》



村上 浩堂
《象嵌瓦文花器 i tetti》



初代 魚住 為榮
《砂張三象花入》



《染付草花文花生》



小松 芳光
《孔雀文花生》



米田 豊也
《赤銅打出花瓶》

【会期中のイベント】

ギャラリートーク

展示作品について学芸員が解説します。事前の申込は不要です。

開催日：7月7日(金)、8日(土)、8月11日(金・祝)、12日(土)、9月8日(金)、9日(土)

時間：14:00から一時間ほど

参加費：観覧料金(一般310円)

「生菓子の日」のお知らせ

館内喫茶室にて季節の和菓子和抹茶のセットをお召し上がりいただけます。数量限定、無くなり次第終了します。生菓子の終了後は通常の抹茶セット(350円)をお楽しみください。

提供日：7月8日(土)、9日(日)、8月11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)、9月9日(土)、10日(日)

利用時間：10:00~16:30(受付は16:00まで)

料金：600円

開館時間：9時30分~17時(受付は16時30分まで)

観覧料金：一般310円/団体(20名以上)260円/65歳以上210円/高校生以下無料

【交通】(駐車場20台有り)

- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から18系統「東部車庫行」「金沢学院大学行」で「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢ふらっとバス(菊川ルート)で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分

茶道具と工芸の美術館

金沢市立中村記念美術館

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号

TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753

<https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/>

